

壁紙ブランド「Who」 | 異業種とのコラボ誕生には担当者の熱い想いがあった！ 新ライン “コラボレーションズ”が生まれるまで 1st



壁紙ブランド「Who」は、2014年、当時の新規事業統括責任者が海外ではすでにトレンドとなっている感性豊かで多様な壁紙デザインとその人気に注目し、“グループ内の知見と技術を生かした新規事業ができないか”、“デザインに特化したインテリア事業ができないか”との想いから企画し、ブランドディレクションに1年をかけて、2015年7月に新しい表現を模索する人たちのための、自由な発想に寄り添う壁紙として誕生しました。

2016年にはグッドデザイン賞も受賞、3~4ヶ月スパンで新柄・新色をリリースし、現在、壁紙ブランド「Who」の柄総数は200

以上（PATTERNSは73柄650点、CREATORSは74柄180点、COLLABORATIONSは85柄456点）。参加クリエイターも、この4年で4倍になりました。

■異業種とのコラボレーションをスタート

壁紙ブランド「Who」は、スタイリッシュで、動きが感じられてかつトレンド感があること、スタンダードでありながら新鮮であり、今風であること、をメンバー全員で大事にしています。

そして、オリジナリティと付加価値を提案する壁紙ブランド「Who」が、2018年度の新たな事業展望として掲げたテーマが、「壁紙ブランドにとどまらない異業種とのコラボレーション」。その第一弾を飾ったのが、アパレルブランドとのコラボレーションでした。

<オンワード樫山 | アパレルブランド「ICB」(2018年7月)>

「ICB」は、International Concept Brandの名が表すとおり、世界視点で自分や社会を見つめられる女性のためのアパレルブランドです。多様でありながら、潔い。伝統を尊重しながら新しい。そして何よりも、自分らしい。インテリアやライフスタイルデザインを取り入れ、アート性が高く、洗練されたスタイリッシュでエレガントなファッションスタイルを提案する「ICB」のブランド担当者から、壁紙ブランド「Who」にコンタクトがあったのは2018年1月。

「ICB」ブランド担当者は、“新しい色味や柄を”と考えており、衣・食・住の境目がなくなってきたこと時代背景を踏まえ、インテリア、とりわけ壁紙ブランドに注目しつつ、服との親和性の高いデザインを求め、ニューヨークのブランドと「Who」のいずれにするか、最終的な検討をされていたとのこと。



2018年2月、「ICB」と「Who」の両メンバーが初顔合わせ。インテリアとライフスタイルやファッションをフラットに意識するようになった時代に、“壁紙だけでなくインテリア全体、さらにはライフスタイルまで提案するブランドでありたい”という「Who」メンバーの想いとも合致し意気投合、アパレルブランドと壁紙ブランドのコラボが決定した瞬間でした。

▼ICB 担当者さまからのコメント

弊社のマーケティング部門の担当者がwebで壁紙ブランド「Who」を見つけ、紹介をしてくれました。スタイリッシュなブランドである点、打ち合わせをさせていただいた「Who」の担当者の方が素敵なファッション、雰囲気だった点などから、「Who」とのコラボレーションを決めました。

そして、2018年7月。

「ICB」130店舗(海外を含む)にて、セール時期の売場に、目新しさとお客様の記憶に残るアクセントアイテムとして「Who」の既存柄をICBのシーズンキーカラーにて展開、柄を落とし込んだブラウスやスカート、カットソーが登場しました。

▼ICB担当者さまからのコメント（コラボレーションを終えて）
インテリアという違う視点、目線とファッションの掛け算により、いつもとは違う空気感を提案することができ、刺激をうけました。

～少し先の未来をご紹介～

7月のコラボアイテムがお客様にも好評だったため、今度は2019年春夏のシーズン商品として、両社にとっての新柄を現在企画中。服と壁紙で4月ごろに同時リリース予定。このコラボの面白いところは、布と壁の全然違うマテリアルに柄を展開すること。お楽しみに！！

▼ICB公式ホームページ <https://www.icb-brand.com/>

壁紙ブランド「Who」について



「Who（フー）」は、より美しく、より愛され、より良い空間を目指し、新しい表現を模索する人のための壁紙ブランドです。2015年7月に、高品質なグラフィックスを製造・販売している株式会社キヤルが、家具・空間・プロダクト・グラフィックのデザインから食、アートにわたってさまざまなクリエイティブ活動を展開する「graf」プロデュースのもと、壁紙ブランド「Who」を立ち上げました。

海外ではすでにトレンドとなっている感性豊かで多様な壁紙デザイン。

「Who」は、日本における壁紙の可能性を広げながら、日本の住まいや空間に適した、日本人の感性にあうデザインの壁紙を提供しています。住まい手にとってより豊かな空間を提供する手段として、個性的で表情豊かなラインナップを揃え、2016年にはグッドデザイン賞を受賞しています。

デザイン性と高品質にこだわった「Who」は、今後さらに拡大するであろう日本のリフォーム・リノベーション市場や、装飾ビジュアル化が進む宿泊施設、店舗・不動産物件などにおいて、より特徴的で美しく空間を彩るデザイン性の高い壁紙に対するニーズに応え続けます。

▼壁紙ブランド「Who」公式サイト

<https://whohw.jp/>

野原ホールディングス株式会社について

弊社をはじめとする野原グループは、創立(1947年)より時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら、建設業界を中心に幅広く事業展開しております。

近年は、「Innovation」・「Digitalization」・「Globalization」をビジョンとしユニークな事業の創出を目標に掲げ、建設業界の発展に寄与すべく、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や建設情報のデジタル化を目指す新会社「BIMObject Japan 株式会社」、グッドデザイン賞受賞商品のみを販売する国内初のデザインショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、特別な思いと時間をシェアする場所「レンタルキッチンスペース「Patia」、新しい表現を模索する人たちのための、自由な発想に寄り添う壁紙ブランド「Who」など、数多くの新規事業を展開し、更なる飛躍を目指しています。

【発行元】

野原ホールディングス株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目1番11号

社長室(担当/齋藤、中島) 電話：03-6328-1576 / e-mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp

▼会社ホームページ

<https://www.nohara-inc.co.jp>